

# 大募集

# 本庄市 マスコットキャラクター

あなたのデザインが  
ほんじょうをPR!

イベントや各種行事で本庄市をPRする、マスコットキャラクターを募集します。  
**本庄市を連想させる、本庄市の「顔」となるキャラクター**  
であれば、どんなデザインでも構いません。

みなさんの応募をお待ちしています。

## 応募できる人

本庄市への熱い思いを持つ人であればどなたでも

## デザインについて

- ☆A4版白色用紙（縦）にデザインしてください。（デジタル画像、手書きなどは問いません。）
- ☆デザインは平面画像とします。（立体や3Dのデザインは不可）
- ☆彩色は自由です。
- ☆ひとり何点でも応募できますが、1枚の用紙につき1点のデザインで応募してください。
- ☆応募者が創作した未発表の作品かつ同一作品が他のコンテストに応募されていない作品で、既存、類似、模倣の作品でないものに限りです。
- ☆応募の際は、作品裏面に①氏名（ふりがな）、②住所、③電話番号、④希望愛称名、⑤作品説明を記載してください。
- ※希望愛称名については参考として活用するもので、採用されるとは限りません。

### 〈表面〉



全体像で  
描いてね！

思いを含めた  
キャラクター  
をデザインし  
てください。

### 〈裏面〉

名前（ふりがな）  
住所  
電話番号  
作品説明

デザインに含めた  
思いなどを  
書いてね！

## 応募方法

郵送又は持参してください。（郵送先については下記をご覧ください。）

持参先：本庄市企画課（市役所3階）、本庄市児玉総合支所総務課（総合支所2階）、本庄商工会議所、児玉商工会、埼玉ひびきの農業協同組合（本庄北支店・本庄南支店・児玉支店）

## 募集期間

5月31日(月)まで（必着）

## 選考方法

実行委員会の選考により、次のとおり決定します。

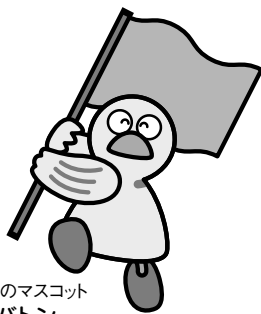
☆本庄市マスコットキャラクター大賞（1点） 賞状・賞金3万円 ☆入選（4点） 賞状・賞金1万円

## 入賞作品の発表

本庄市、本庄商工会議所、児玉商工会、埼玉ひびきの農業協同組合等の広報及びホームページ等で発表します。入賞者については、文書で通知します。

## その他の注意

- ☆応募の際に必要な郵送料等の経費は応募者負担とします。
- ☆応募作品は返却できません。
- ☆大賞作品は、実行委員会において補作、修正する場合があります。
- ☆大賞作品は、イベントや広報紙等で幅広く活用していきます。
- ☆大賞作品の著作権、二次使用権、商品化権、放送権、その他一切の権利は実行委員会に帰属します。また、応募規定に違反する事項が認定された場合は、入選後でも資格を取り消すこととします。



埼玉県のマスコット  
コバトン

コバトンも応援しています

デザイン決定後、『愛称』についても募集する予定です。

◇郵送先・お問い合わせ先◇

〒367-8555 埼玉県本庄市朝日町3-1-35  
（本庄商工会議所内）本庄市マスコットキャラクター実行委員会  
☎0495-22-5241 FAX0495-24-3003

# 本市の持つ資源を最大限に活かし 「持続可能なまちづくり」 に魂を込めて

吉田市長は、3月1日に開会した平成22年本庄市議会第1回定例会において、平成22年度の市政運営の基本的考え方と主な施策を説明しました。将来を担う子どもたちに胸を張ってバトンを手渡せる誇りある本庄を創るため、さまざまなチャレンジを続けていくと抱負を述べました。(以下要旨)



吉田 信解 本庄市長

合併後の新本庄市市長として、私はこれまで一貫して「信頼、公正、実行力」を信条に、多くのみなさんに支えられながら、常に本庄市全体、市民全体の観点に立ち、市政のかじ取りに全力で取り組みました。

市長2期目を担うにあたり、今後とも自ら全ての責任を背負う覚悟で、まちづくりに魂を込め、身を挺して市政の進展に尽力しますので、みなさんの一層のご支援とご協力をお願いします。

## 行政経営に関する

### 基本的な考え方



わが国の経済の先行きにつきましては、「物価動向は緩やかなデフレ状況にあり、依然として厳しい雇用情勢が続く」とされております。

今後いかにして景気を回復し、財政状況を改善し、明日を担う人材を育て、増大する社会保障のニーズに応えていくか、持続可能な新しい時代を創るためのチャレンジが求められております。

本市においても、さまざまなまちづくりのチャレンジを市民のみならずと続けていきます。そして、市民の福祉向上、本庄市における「安全と安心」を増進させるという目的をしっかりと認識し、本市の持つ資源

を最大限に活かして、持続可能なまちづくりに魂を込めて取り組んでいきます。このため、

- ①子育て・教育環境の充実したまちづくり
- ②市民との協働を推進するまちづくり

- ③安全安心のまちづくり
- ④活力を高めるまちづくり
- ⑤全国に知られるまちづくり

という「5つのキーワード」に、それを進める心構え「自ら」を掲げ、新しい時代へ向けて予算を編成し、施策の推進にあたっていきます。

## 健康福祉分野



「子どもからお年寄りまで、健やかで安心して暮らせるまち」を目指し、保健、医療、福祉の充実に努めます。

子育て支援の強化では、4月に開所する「いずみ保育所」において、市内全域を対象とした一時保育や病後児保育を実施し、子育てと仕事の両立を支援します。同施設に併設される発達教育支援センターでは、発達障害を持つ児童生徒に対して早期に対応するなど、相談・支援体制の充実を図ります。また、子ども医療費及びひとり親家庭等の医療費支給

制度を引き続き実施し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るほか、地域の子育て支援団体の知恵、愛情、マンパワーなどを借りて「子育てサロン活動」、「赤ちゃんの駅」、「登下校時の児童の見守り活動」などの各種施策により、安心して子育てができる環境づくりに取り組み、「子育て参加率日本一のまち」を目指していきます。

健康づくりの推進では、ペプシノゲン法による胃がん検診と前立腺がんの検診を新たに実施していきます。医療体制の充実では、休日急患診療所の夜間診療を継続するとともに、在宅当番医制、病院群輪番制病院補助事業、熊谷・深谷・児玉地区小児救急支援制度補助事業など医療体制の充実に努めていきます。

障害者福祉・地域福祉の推進では、重度心身障害者自動車等燃料費助成や福祉タクシー利用料の助成を市独自の施策として継続していくほか、障害者の社会参加・就労支援、相談福祉サービスの利用援助や情報提供を行い、障害者が安心して暮らせる社会を目指していきます。

高齢者福祉の充実では、各種健診・相談事業・健康事業、介護予防事業を推進していきます。また、高齢者敬老事業、高齢者在宅自立支援事業、要介護高齢者対策事業などの高齢者が安心して暮らせるための各種高齢者福祉事業を実施していきます。